



目指す児童像 ・やさしく ・かしこく ・たくましく

TEL:89-2043 FAX:89-2184 HP:http://www.fukui-city.ed.jp/koshino-e

☆令和4年度 学校評価の集計結果と分析 ご協力ありがとうございました

12月に実施した学校評価について保護者の皆さまにはお忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。今年度もオンラインでのアンケート回答をお願いすることで、集計作業も効率よく進められ学校の業務改善に大きく効果がありました。今回は、その結果を報告させていただきます。

昨年度(令和3年度)より向上した項目 (5%以上の上昇) 昨年(令和3年度) → 今年(令和4年度)

児童	項目	昨年(令和3年度)	今年(令和4年度)
	・授業で友達の意見を取り入れ、自分の考えを広げることができる	90.5%	95.2%
	・タブレットを使って考えや意見をわかりやすく伝えることができる	(新規設問)	100.0%
	・苦手なことやできないことにチャレンジしている	81.0%	95.2%
	・いろいろなことを相談できる友達がいる	90.5%	95.2%
	・地域の行事や活動に参加している	71.4%	85.7%
	・1日30分以上は本を読んでいる	66.7%	71.4%



昨年度(令和3年度)より下降した項目 (5%以上の下降)

児童	項目	昨年(令和3年度)	今年(令和4年度)
	・宿題以外に予習や復習など自分で考えた学習に取り組む	81.0%	71.4%
保護者	・我が子は学校生活を楽しくしており、友人関係も良好である	100.0%	66.6%
	・我が子は思いやりの心を持ち、他者に優しく仕様と心がけている	94.1%	83.3%
	・我が子は家庭学習に意欲を持って取り組んでいる	82.3%	66.6%
	・我が子はつきたい職業など将来の夢や目標を持っている	64.7%	58.3%
	・我が子と相談してSNSやゲームなど家庭のルールを決めている	82.4%	58.3%

学校評価の分析から

- ・少人数での学習指導を強みに変える教育実践の積み重ねにより、教室では課題を持って学習に取り組む中で話し合い活動や自主的な調べ学習を子ども達だけで進める習慣が定着してきました。自分の考えを持つこと、そしてそれをわかりやすく伝えることに喜びを見出す子も増えています。また、タブレットを積極的に活用することで自分らしい表現方法の工夫や学びの成果ふり返りにより達成感を感じる場面も多くなっています。一方、予習復習などじっくりと時間をかけ自分に合った家庭学習に取り組む習慣を高めることが課題です。
- ・「一人で歩く みんなと歩く 力の限り歩く」を合言葉に自分の可能性に挑戦する姿勢は、マラソン大会やなわとび大会などの体育行事、学年での学習発表など多くの場面で発揮されています。それが次の学習や活動への原動力ともなっています。自分の可能性を高める経験を積み上げることが自己肯定感や自己有用感を高めるために大切です。ご家庭でも、お子さまに「やればできる」といった温かい言葉かけをお願いします。
- ・「親子で学ぶ道徳講座」や道徳の生き方教育、総合での地域を生かした体験活動などを通して子ども達は自分の目標や夢を描いています。それを家族に話すことがためられることもあるかと思いますが、折に触れ、お子さまの考えをじっくりと聞き、対話していく「心のゆとり」を保護者の方に持っていただけたと思います。
- ・本校は県平均と比較しても家庭での1日のゲーム、タブレット視聴使用時間が長い傾向になります。ご家庭でもICT機器の使用についてスマートルールを決めて、より望ましいおうち時間の過ごし方をお願いします。子どもはゲーム、タブレットに向き合う時間分、家族との会話の時間やしなければならない宿題等の学習時間が減ります。お子さまには正しい向かい合い方、付き合い方を示していただけたらと思います。

重点目標	具体的取組	NO	評価対象	評価項目	評価	R4	R3	R2	R1
自ら学ぶ確かな学力	◎間接指導が、より豊かな学びの場となることを目指した複式授業の充実 ○表現する場の充実 ○朝読書の推進による朝読書週間定着	1	児童	授業で、いろんなことを学ぶのは、楽しい。	A	95.2	100	95.8	100
		2	児童	授業に主体的に取り組んでいる。	A	95.2	95.2	87.5	100
		3	児童	授業の内容は、よく分かる。	A	90.5	95.2	91.7	100
		保護者	我が子は、基礎基本の学習内容をしっかり身につけている。	B	83.3	88.2	73.7	83.4	
		児童	先生は、授業内容を一生けん命教えてくれる。	A	95.2	100	95.8	96.6	
		家庭・地域・学校協議会	学校は、子どもたちが授業を理解できるように、努力している。	A	100	100	83.3	50	
		教職員	本校は、発達段階や一人一人の児童の実態や理解度に応じた授業づくりに、積極的に取り組んでいる。	A	100	100	100	100	
		児童	友達の見え方を取り入れ、自分の考えを広げることができる	A	95.2	90.5	87.5	100	
		児童（新規）	授業でタブレットを使った時に、自分の考えや意見を友達や先生にわかりやすくつたえることができた。	A	100	—	—	—	
		教職員	本校は、児童生徒の発言や質問を生かした、思考を深める授業に努めている。	A	100	100	100	100	
豊かな人間性	◎生命や人権を尊重し、認め・助け・協力し合う仲間づくり ○継続実践による非認知能力の向上	11	児童	先生は、自分の良い点やがんばったことをほめてくれる。	A	95.2	95.2	95.8	96.6
		教職員	自分は、児童生徒の良い点やがんばっている点を積極的に認め、ほめている。	A	100	100	100	100	
		12	児童	先生は、よくないことをした時にはちゃんとしかってくれる。	A	95.2	100	100	96.6
		教職員	自分は、児童生徒のよくない行動や態度に対して適切な指導をしている。	A	100	100	100	100	
		児童	学校生活が充実していて、学校へ通うのが楽しい。	A	95.2	95.2	83.3	100	
		保護者	我が子は、学校生活を楽しくしており、友人関係も良好である。	D	66.6	100	100	91.7	
		家庭・地域・学校協議会	学校は、学校行事を通し、子どもたちが楽しく充実した学校生活を送り、自信をつけることができるように努力している。	A	100	100	100	83.4	
		教職員	本校の子どもたちは楽しく学校生活を送っている。	A	100	100	100	100	
		14	児童	いろんなことを相談できる友達がいる。	A	95.2	90.5	87.5	96.6
		児童	委員会活動やおおげグループの活動を、がんばって取り組んでいる。	A	95.2	95.2	100	100.0	
教職員	自分は、児童生徒が、自分で主体的な行動や活動ができるように、意識しながら指導を行っている。	A	100	100	100	100			
保護者	我が子は、あいさつや正しい言葉づかいのマナーを心がけている。	B	83.3	82.4	78.9	79.2			
16	保護者	我が子は、思いやりの心もち、他者に優しくしようと思っている。	B	83.3	94.1	94.7	87.5		
児童	いじめを見たら、まわりの大人に知らせたり、とめたりすることができる。	B	85.7	95.2	91.7	93.1			
17	児童	地域の人にあいさつをしている。	A	95.2	100	95.8	100.0		
保護者	本校の児童は、地域でのあいさつをがんばっている。	A	91.7	100	73.1	79.2			
家庭・地域・学校協議会	子どもたちは、元気にあいさつをし、人に親切にしている。	B	85.7	100	100	100			
18	児童	道徳の時間は、考えを深めることができる。	A	90.5	95.2	87.5	100		
教職員	自分は道徳の授業時間を確保し、心を見つめさせたり生き方について考えさせたりする指導に努めている。	A	100	100	100	100			
19	児童	苦手なことやできないことにチャレンジしている。	A	95.2	81	91.7	96.6		
20	家庭・地域・学校協議会	教職員は、模範となる言動を示すとともに、子どもたちや保護者に、誠実に対応している。	A	100	100	100	50		
健やかな心と体	◎健康でたくましい心と体の育成 ○将来の夢やその実現への目標など、生き方を学ぶ教育	21	児童	将来の夢やめざす目標をもっている。	A	95.2	100	79.2	93.1
		保護者	我が子は、つきたい職業など、将来の夢や目標をもっている。	D	58.3	64.7	52.6	54.2	
		22	教職員	本校は、児童生徒が夢や将来の目標を持ち、その実現に向け努力するよう、キャリア教育に力を入れている。	A	100	100	75	100
		保護者	学校は、子どもたち一人ひとりを大切に、あたたかく指導している。	A	91.7	100	100	100	
23	家庭・地域・学校協議会	学校は、子どもたちひとりひとりを大切に、あたたかく指導している。	A	100	100	100	93.8		
教職員	自分は、子どもたちの悩みや相談に親身になって対応している。	A	100	100	100	100			
教職員	本校は、関係機関と連携をとったり、校内で情報を共有したりして、課題をかかえる児童生徒に十分な支援を行っている。	A	100	100	100	100			
24	教職員	本校は、報告・連絡・相談を適切に行い、各職員が連携・協力して仕事を進めている。	A	100	100	100	100		
地域に学ぶ	◎地域素材の活用と地域の方々との交流活動の推進 ○自らを守る安全教育の推進	25	児童	越後のことを調べたり、地域活動したりする時間は、楽しい。	A	95.2	100	87.5	90.0
		教職員	【新】学校は、児童生徒が郷土福井への関心を高めたり、大切に感じたりできる活動に十分取り組んでいる。	A	100	—	—	—	
		家庭・地域・学校協議会	学校は、地域の教育力（地域の人材・施設・伝統・文化等）を生かそうとしている。	A	100	100	100	83.3	
		26	児童	地域の行事や活動に参加している。	B	85.7	71.4	75	93.1
		保護者	本校の児童は、地域の行事（公民館の行事など）に参加している。	B	83.3	100	89.5	91.7	
		家庭・地域・学校協議会	子どもたちは、公民館の活動などに参加している。	A	100	85.7	83.3	100.0	
		27	保護者	学校は、地域やPTAを大切に考え、取り組んでいる。	A	100	100	100	95.8
		28	教職員	本校は、中学校区を目指す子どもの姿の実現に向けて、取り組んでいる。	A	100	100	100	100
		29	保護者	我が子と相談して、SNSやゲームについて家庭のルールを決めている。（1日60分以内など）	D	58.3	82.4	78.9	79.1
		30	児童	学校であったことを家の人によく話している。	C	71.4	95.2	91.7	96.6
		保護者	我が子は、学校であったことを話してくれる。	A	91.7	94.1	89.5	79.2	
保護者	学校は、「PTA総会」「懇話会」「学年だより」「校舎参観」等を通して、保護者に教育方針や教育内容を適切に伝えていく。	A	100	100	100	100			
31	家庭・地域・学校協議会	学校は、授業や学校行事等を積極的に公開し、保護者が学校で子どもたちの様子を知るための機会をつくっている。	A	100	100	100	100		
32	保護者	子どもに関することで、学校に相談できる。	A	100	100	100	83.4		
家庭・地域・学校協議会	学校へは、子どものことで気軽に相談したり、要望を伝えたりすることができる。	C	71.4	100	66.7	86.7			
33	保護者	学校は、電話をかけた時や学校を訪れた時など、適切に対応している。	A	100	100	100	100		
教職員	本校は、保護者との意思疎通や電話、来校者への対応を誠実にしている。	A	100	100	100	100			
家庭・地域・学校協議会	学校は、保護者や地域の方々の願いに応えようと努力している。	A	100	100	100	83.4			
34	教職員	本校は、地域や保護者との連携をとり、地域や保護者の願いに応えようと努力を行っている。	A	100	100	100	100		
35	保護者	学校は、火事や地震などの災害や交通安全など安全面について適切に指導している。	A	100	100	94.7	91.7		
家庭・地域・学校協議会	学校は、火事や地震などの災害や交通安全など、子どもたちの安全に配慮している。	B	85.7	100	83.3	68.8			
アンケートの評価 「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の合計の百分率		90%以上=A	80%以上=B	70%以上=C	70%未満=D				